

令和 6 年 6 月 30 日

兵庫県議会 自由民主党議員団 幹事長 北口寛人様

公開質問状への回答

増山誠チャンネル
(兵庫県議会議員 増山誠)

兵庫県議会自由民主党県議団北口幹事長から頂きました公開質問状において記載の誤りと考えられる部分があり、回答に際し修正が必要であったため下記のように訂正させていただきます。

「【裏話】知事給与減額条例が頓挫した裏話！」の動画は当方において 6 月 10 日に youtube 上で公開したものであり、「6 月 11 日にアップされた」は「6 月 10 日にアップされた」の誤りであると思いますので読み替えて回答しております。また質問事項（2）にあります「6 月 10 日貴殿は軽率な行動であったと北口幹事長あてに謝罪をされ動画を削除されました」の一文について、動画を公開した翌日に当方において当該動画を削除（非公開に）した件へのご指摘かと思いますが、当然ながら非公開にしたのは動画を公開した後になりますので、「6 月 11 日に貴殿は・・・」の誤りであると思いますので読み替えて回答しております。

質問（1）動画の裏付けとなった調査方法等を具体的に示してください（誰からどのように）。

質問（1）の回答

ご指摘いただきました「増山誠チャンネル」は youtube 上のチャンネルとして県政に関することのみならず様々な情報を発信するメディアとしての役割を担っております。メディアには「取材源の秘匿」があり、記事の元となった情報提供者の氏名や情報を第三者に対して明かさない倫理が求められ、これは国民の知る権利を守るための報道の自由として重要視されております。当チャンネルもメディアとしての性質上、日々様々な関係者への取材を行っておりますが、当然ながら情報源や取材方法について第三者に開示することはできません。

質問（２） ６月１１日（原文６月１０日）貴殿は、軽率な行動であったと北口幹事長あてに謝罪をされ、動画を削除されました。謝罪および動画削除という行動に込められた貴殿のお考えや想いをお答えください。

質問（２）の回答

議員として信念をもって行った賛否の表明を、有権者である県民の皆様には周知することは専ら公益に資するものであると考えています。当方といたしましては、自民党県議団の審議においてそれぞれの議員の皆様の信念のある行動を動画で発信することで、皆様の議員活動への一助となるものと考えておりました。しかしながら、６月１１日の議会運営委員会の前に、自民党県議団の一人から「昨日の動画は良くない」という趣旨のご指摘を頂きました。当方としては、各議員の皆様が信念を持って行った投票行為を明らかにすることでご不快な気持ちにさせてしまうとは考えておりませんでした。動画でお名前を出した方から直接そのような不快感を示すご指摘をいただいたことを重く受け止め、すぐに動画を削除（非公開）させていただきました。このような事情につき、北口幹事長には６月１１日の議会運営委員会終了後に「（気分を害される発信をしてしまい）軽率であった」事と、ご指摘を受けて動画を削除（非公開）した事をお伝えした次第です。

質問（３） 動画が削除された後も各所で転載され、情報が拡散している状況です。今も拡大している被害を食い止めるために、訂正動画等を作成・公開される等の対応はなされますか。

質問（３）の回答

- 1、先の回答にもあるように、有権者の皆様に各議員の考えをお示しすることは公益に資するものと考えますが、「今も拡大している被害を食い止める」というのはどのような被害なのか愚考いたしますところ、当方においては「実際の投票行動と当チャンネルでの発信が異なっている」こととお見受けいたしました。

現在、当該動画は非公開となっておりますのでご覧いただけていない可能性もあるのかと思いますが、動画内では「この情報が間違っているよということがございましたら今回名前を挙げられた議員の方は、直接言って頂ければすぐに訂正させていただきます」と申し上げておりますとおり、訂正することに何ら憚りはございません。もし誤りがあれば訂正動画を発信させていただきますので、各議員の投票行動をご提示いただくか、個別にご連絡いただければ訂正及び発信させていただきます。

頂きました公開質問状への回答は以上となります。

最後にいくつか確認したい点がございますのでお伝えいたします。

公開質問状の冒頭文に「事実ではない点が多く含まれると断言できる」とありますが、どの部分が事実ではないのか当方においては把握することが困難でございました。つきましては、事実でない点をご指摘いただきましたら訂正させていただきますので、ご教示頂ければ幸いです。

また、「総会における議案審議に関して憶測で情報を流布する行為は、議会の秩序を乱し、議会の信頼の損失につながる不適切な行為」とありますが、これまで総会での内容がメディアで報道された事例が見受けられます。

具体的には 2026 年 6 月 11 日付の朝日新聞の茶井祐輝記者と谷辺晃子記者が WEB に掲載した記事

【「まさかこんなことに」兵庫自民を一転させた斎藤知事の二つの発言】

において下記の記述があります

（記事引用）

「8 日午後 3 時 50 分、この日 3 回目の議員団総会（団総）が始まった。兵庫県議会で最大会派の自民党に属する 34 人が、県庁の大会議室に集まっている。議題は斎藤元彦知事が提出した給料削減案について。賛成の方針でまとまっていたはずだった。ところが、朝の 1 回目に異論が出た。本会議を挟み、昼休みに開いた 2 回目でも反対意見が出た。そうして迎えた、予定外の 3 回目だった。」

「ご意見をちょうだいする」

幹部がそう切り出すと、反対論が数人の県議から噴き出た。賛成の声は、多勢に無勢だった。決をとることにした。賛成するなら○を。しないなら何も書かない。

・・・以下省略

（引用終わり）

などと会議の流れや議員の発言、採決方法等についても具体的に記載されています。こちらについても、当然何らかの取材に基づいた記事かと思いますが、当方に対して発出されたのと同様に「記事の裏付けとなった調査方法（誰からどのように）」等を問いただす公開質問状などを発出されているか、また他の事案でもメディアに対して議員団総会の内容を記載した者について公開質問状など発出された事例があればご提示願います。もし事例が無いようでしたら、どのような基準で発出されるのかご教示ください。

お答え頂ける場合は文書にて回答頂ければ幸甚に存じます。

最後に、公開質問状には動画内で述べられた重要な部分に言及がありませんでした。当方が公開した動画内では

「あくまで私の方で情報収集をした結果であるということをご留意いただきたい」

「私がその場に行って誰が（手を）挙げているのかチェックしたわけではない」

「真偽のほどはいかんというような噂話のような形で聞いていただく位がいいのかなと思います」

「公になっている情報ではありませんのでそのあたりは差し引いてお考えいただければと思います」

と複数回に渡り、情報の正確性に関して一定留保をするよう視聴者に対して注意喚起を行っております。

さらには質問（３）の回答にも記載しておりますが、以上のような情報の信頼性に関する留保を付けた上で、「この情報が間違っているよということがございましたら今回名前を挙げられた議員の方は、直接言って頂ければすぐに訂正させていただきます」と申し上げております。

国政において政権与党を長く務められている自由民主党のなかでも、雄県兵庫を代表する兵庫県議団として、巨大メディア等と比較すれば影響力の極めて小さい当チャンネルのような弱小メディアに対して公開質問状を発出されたことに大変驚きましたが、この度不快な思いをされた議員の方が多数おられる状況は大変心苦しく感じております。御心労おかけいたしまして大変申し訳ございませんでした。

以上